

第8回(平成9年度)通信利用動向調査

目次

<企業編>

通信ネットワークの概況

- 1 LANの構築状況
- 2 イン트라ネットの構築状況
- 3 企業内通信網への接続状況
- 4 LANやイン트라ネット接続端末の使用人数
- 5 LANやイン트라ネット利用上の問題点
- 6 LANやイン트라ネットの構築目的
- 7 LANの種類(構築企業)
- 8 エクストラネットの利用状況

パソコン通信サービス・インターネット

- 1 パソコン通信サービスの利用状況
- 2 インターネットの利用状況
- 3 インターネットの利用上の不満点

VANサービス

- 1 VANサービスの利用状況
- 2 VANサービスの利用用途

電子メール

- 1 電子メールの利用状況
- 2 電子メールの採用システム
- 3 電子メール利用上の不満点

E D I

- 1 E D Iの利用状況
- 2 インターネットを活用したE D Iの利用状況と理由
- 3 E D Iの接続企業数
- 4 E D Iの情報表現規約
- 5 E D Iでデータ交換する業務
- 6 E D Iの利用による具体的成果
- 7 E D I利用上の不満点

通信ネットワークの安全対策

- 1 データセキュリティへの対応状況
- 2 ウイルス対策状況
- 3 ウイルスチェックプログラムの更新周期
- 4 バックアップ対策の実施状況

通信ネットワークの関係費用

- 1 通信ネットワーク関係費用の平均額
- 2 通信ネットワーク関係費用構成比

企業編

【 通信ネットワークの概況 】

1 LANの構築状況

LANを構築している企業の割合は75.2%で、平成7年調査からの時系列で比較すると年々増加している。従業員規模別みると、大規模企業ほど構築率は高く、1,000人以上の企業では9割(1,000～1,999人 90.6%、2,000人以上 93.3%)を超える。

図 I-1-1 LANの構築状況の推移

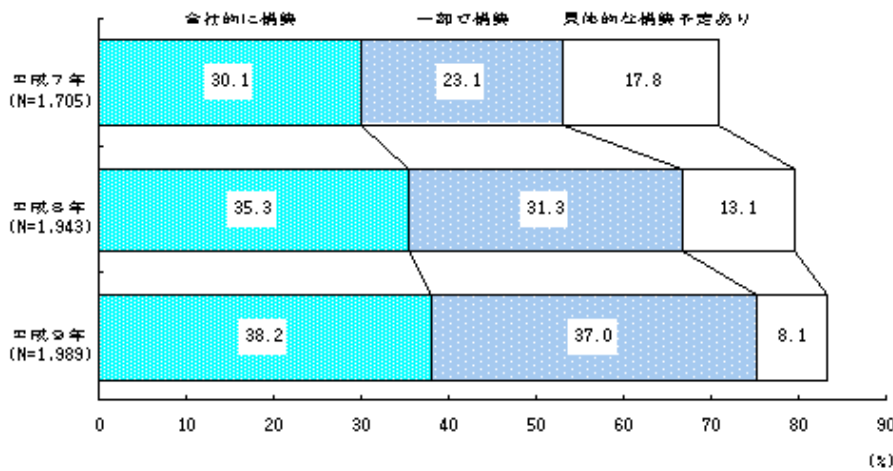
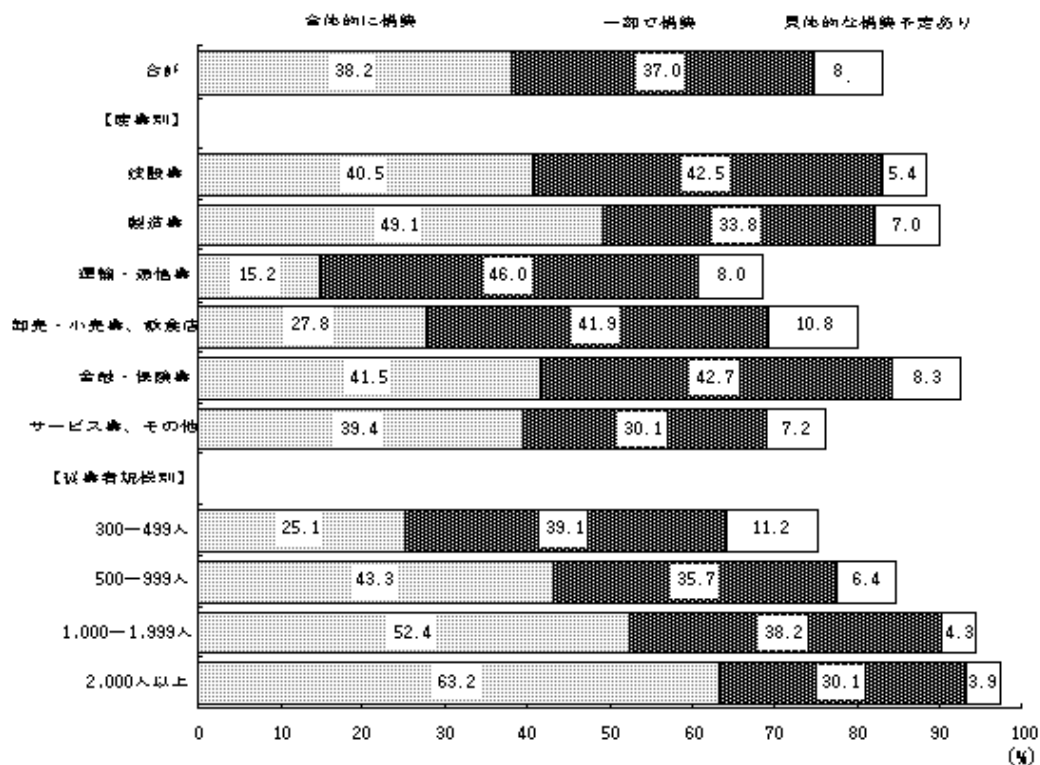


図 I-1-2 LANの構築状況(企業属性別)



企業編

【 通信ネットワークの概況 】

2 イン트라ネットの構築状況

イン트라ネットを構築している企業の割合は21.4%で、前年調査から15.0ポイント増加している。従業員規模別にみると、大規模企業ほど構築率が高く、従業員規模が2,000人以上の企業で46.6%。

図 I-2-1 イン트라ネットの構築状況の推移

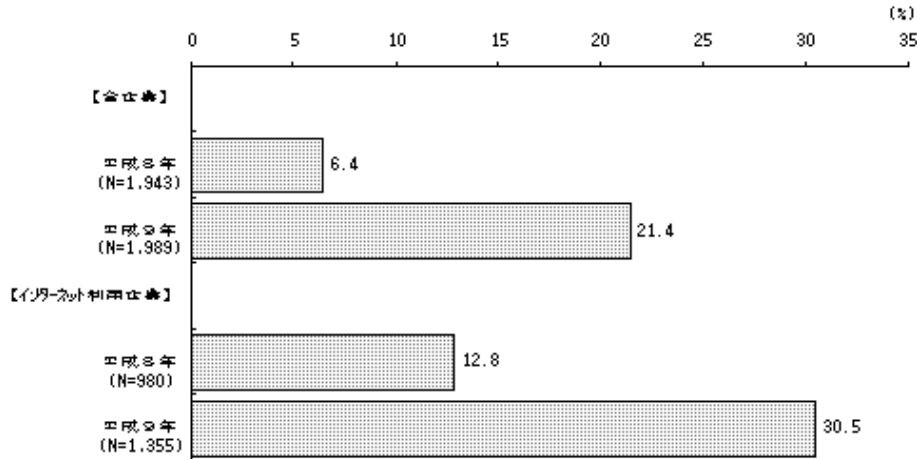
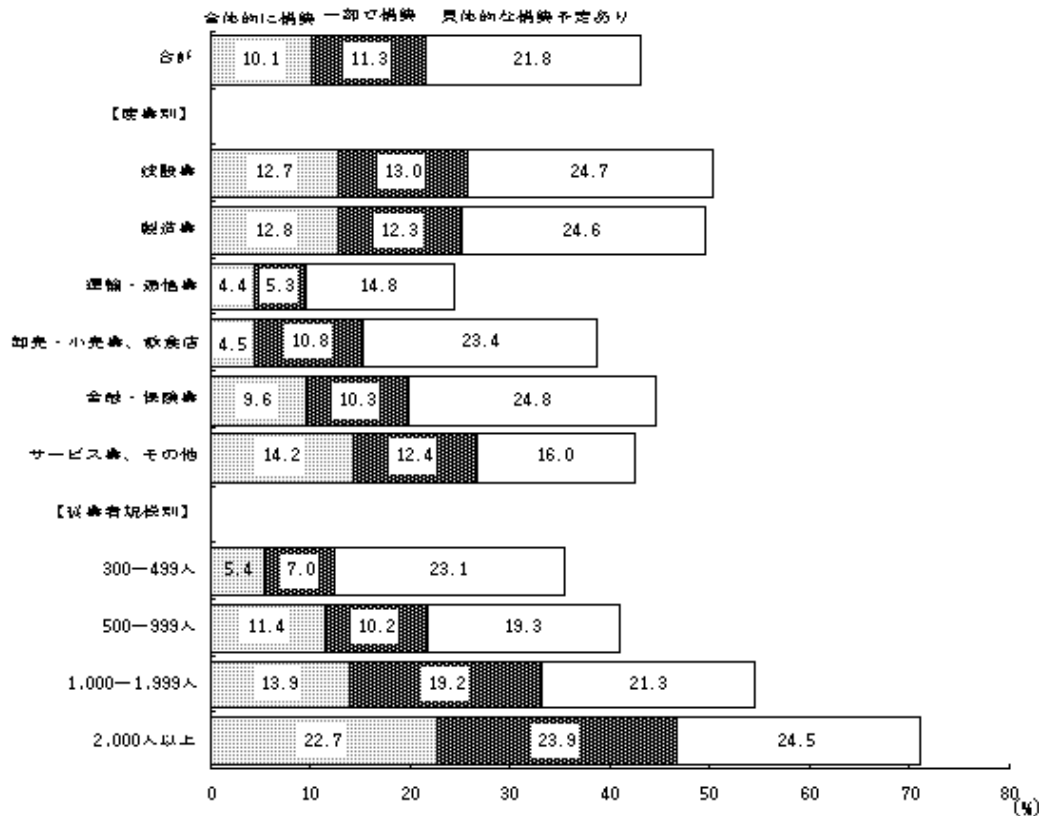


図 I-2-2 イン트라ネットの構築状況(企業属性別)



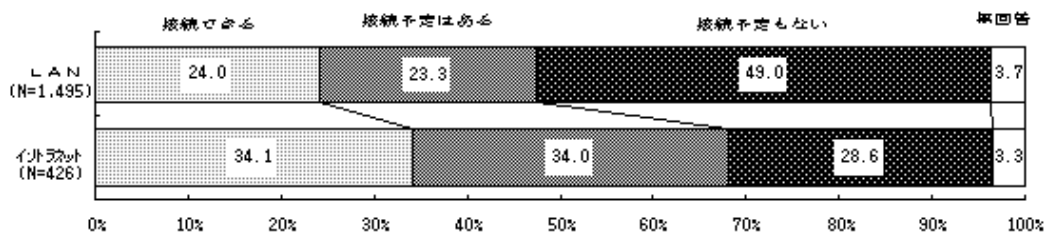
企業編

【 通信ネットワークの概況 】

3 企業内通信網への接続状況

LAN・イントラネットの構築企業での外出先等から携帯端末等を利用して、企業内通信網への接続状況は、LAN構築企業では24.0%、イントラネット構築企業では34.1%。

図 I - 3 企業内通信網への接続状況



企業編

【 通信ネットワークの概況 】

4 LANやイントラネット接続端末の使用人数

LANやイントラネット接続端末の1台当たりの使用人数は、5人以上で使用が28.5%で最も多く、次いで2人で使用が22.1%、3人で使用が18.0%と続いている。1人で1台使用している割合を産業別にみると、サービス業、その他が28.3%で多く、次いで建設業が15.6%、製造業が15.3%と続いている。

図 I-4-1 LANやイントラネット接続端末の使用人数

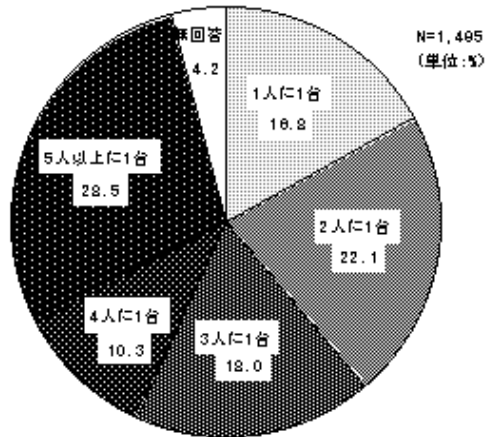
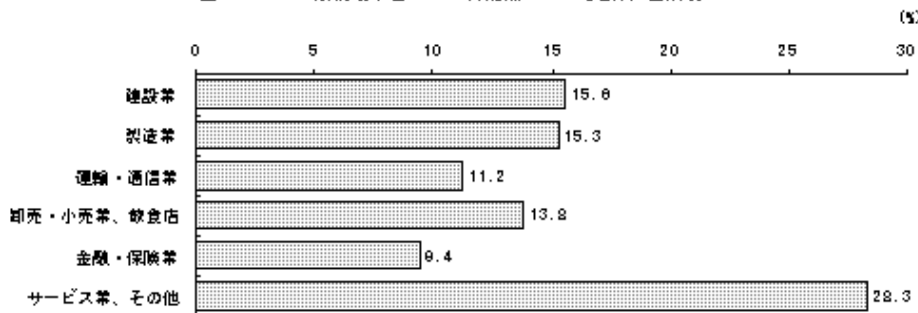


図 I-4-2 接続端末を1人1台配備している割合(産業別)

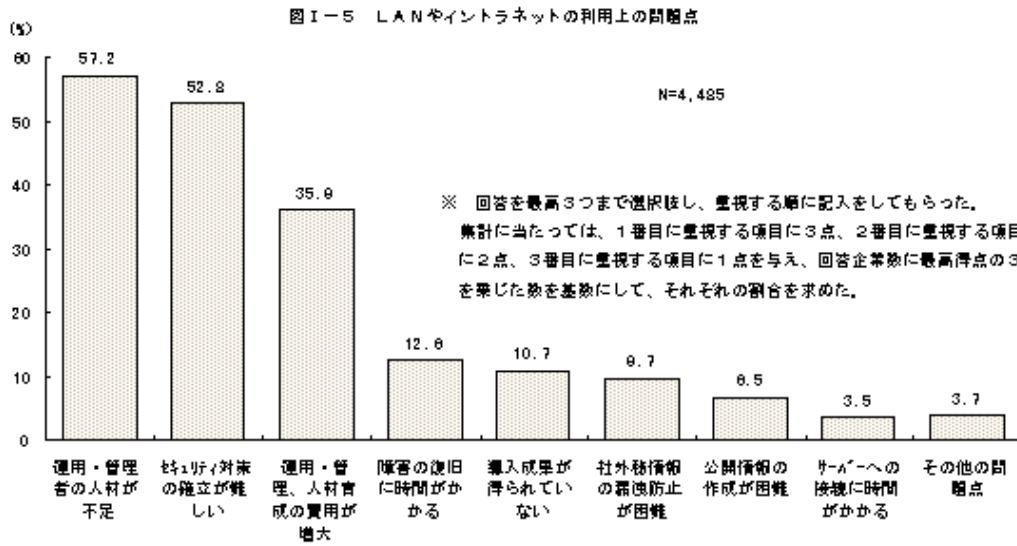


企業編

【 通信ネットワークの概況 】

5 LANやイントラネットの利用上の問題点

LANやイントラネットの問題点は、「運用・管理者の人材不足」が57.2%で多く、「セキュリティ対策の確立が難しい」が52.8%、「運用・管理、人材育成の費用が増大」が35.9%が続いている。

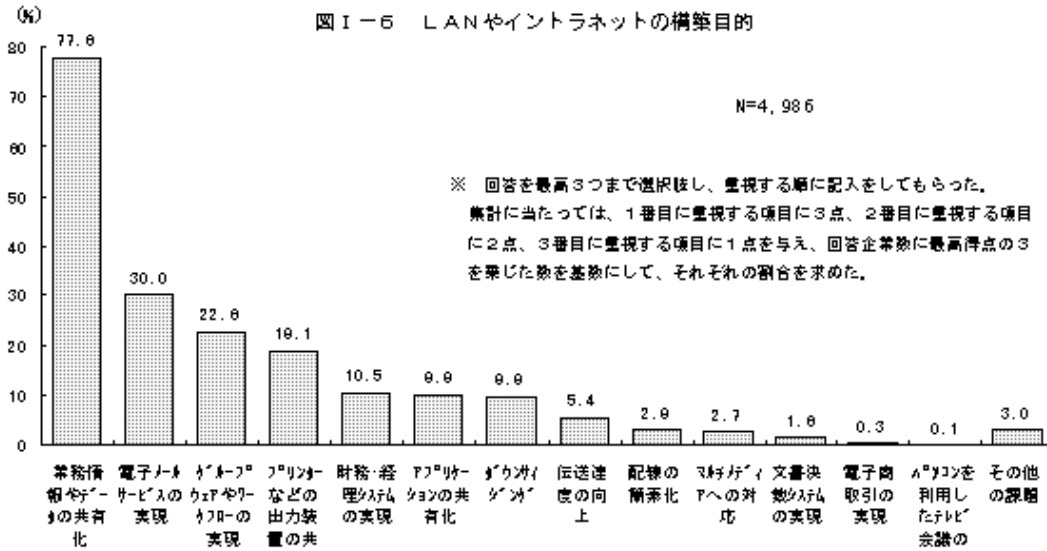


企業編

【 通信ネットワークの概況 】

6 LANやイントラネットの構築目的

LANやイントラネット構築企業及び構築予定企業での構築目的は業務情報やデータの共有化が7割(77.6%)を超える。ついで電子メールサービスの実現が30.0%で、グループウェアやワークフローの実現が22.6%と続いている。



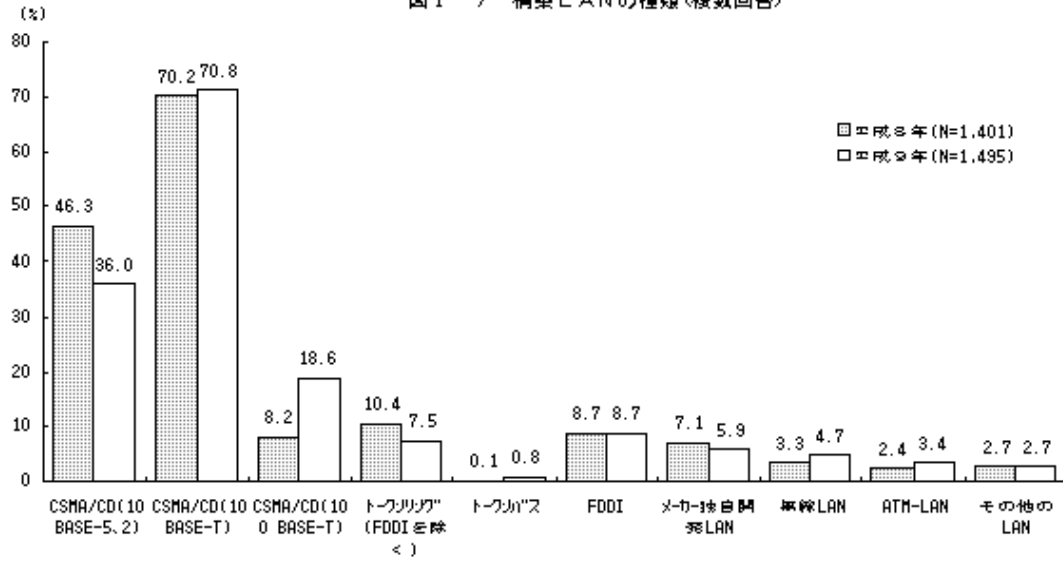
企業編

【 通信ネットワークの概況 】

7 LANの種類（構築企業）

LANの構築種類を前年調査と比較すると、「CSMA/CD 10BASE-5 10BASE-2」が36.0%で10.3ポイントの減少、「CSMA/CD 100BASE-T」が18.6%で10.4ポイント増加している。

図 I-7 構築LANの種類（複数回答）



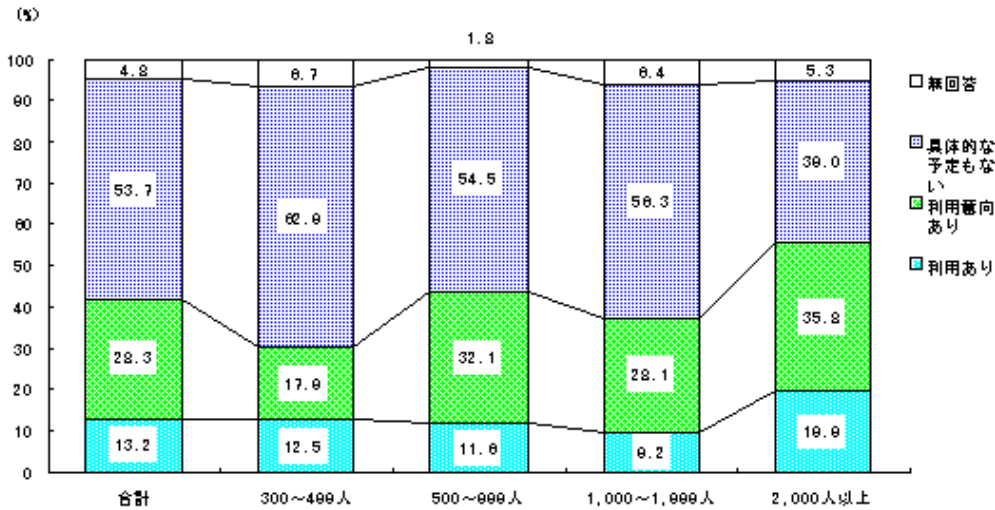
企業編

【 通信ネットワークの概況 】

8 エクストラネットの利用状況

イントラネット構築企業でのエクストラネットの利用割合は13.2%。また、「具体的利用予定がある」企業は28.3%で将来的には41.5%の企業で利用が見込まれる。

図1-8 エクストラネットの利用状況(イントラネット構築企業)(従業員規模別)



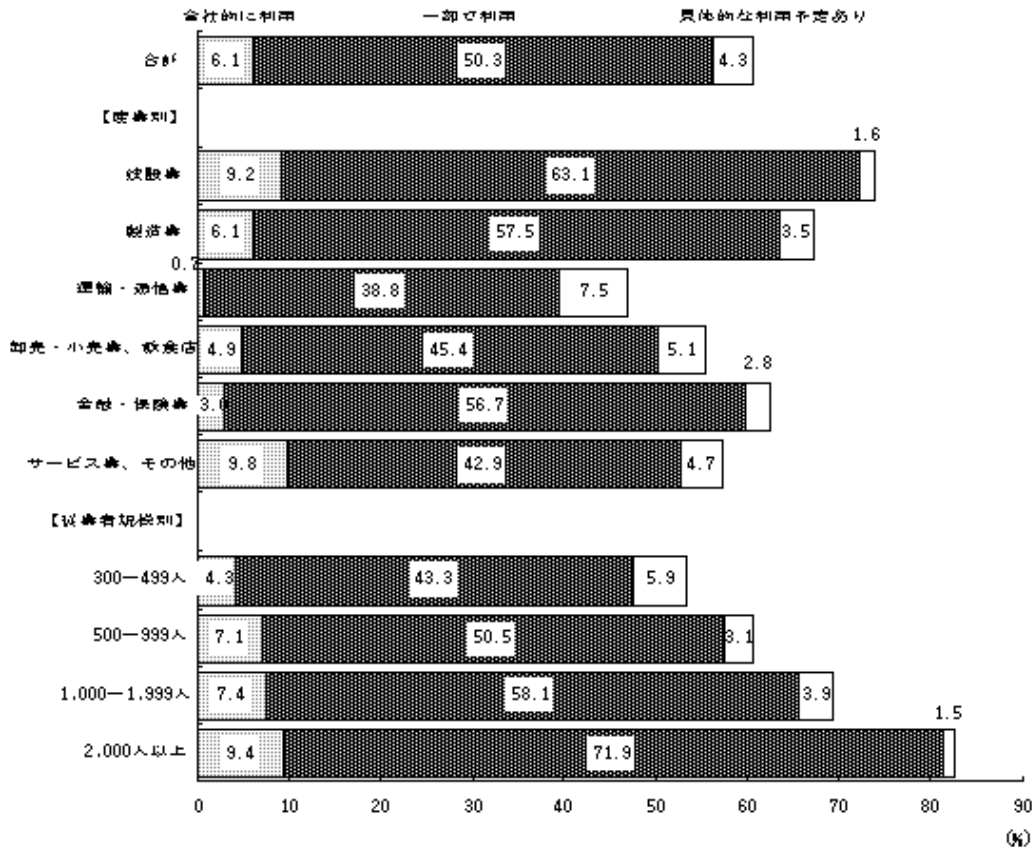
企業編

【 パソコン通信サービス・インターネット 】

1 パソコン通信サービスの利用状況

パソコン通信サービスの利用率は56.4%で、そのうち「全社的に利用」は6.1%とわずかである。
 企業の属性別にみると、産業では「建設業」が72.3%で最も多く、従業員規模別にみると大規模企業ほど利用率が高く、2,000人以上の企業では利用率は8割(81.3%)を超える。

図Ⅱ-1 パソコン通信サービスの利用状況(企業属性別)



企業編

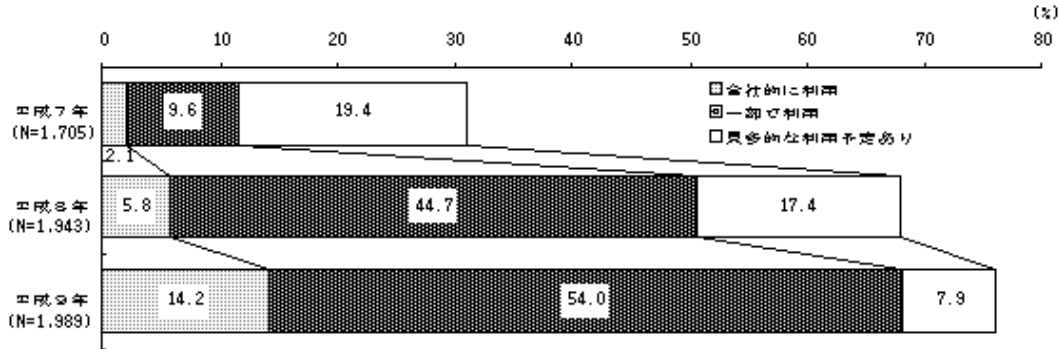
【 パソコン通信サービス・インターネット 】

2 インターネットの利用状況

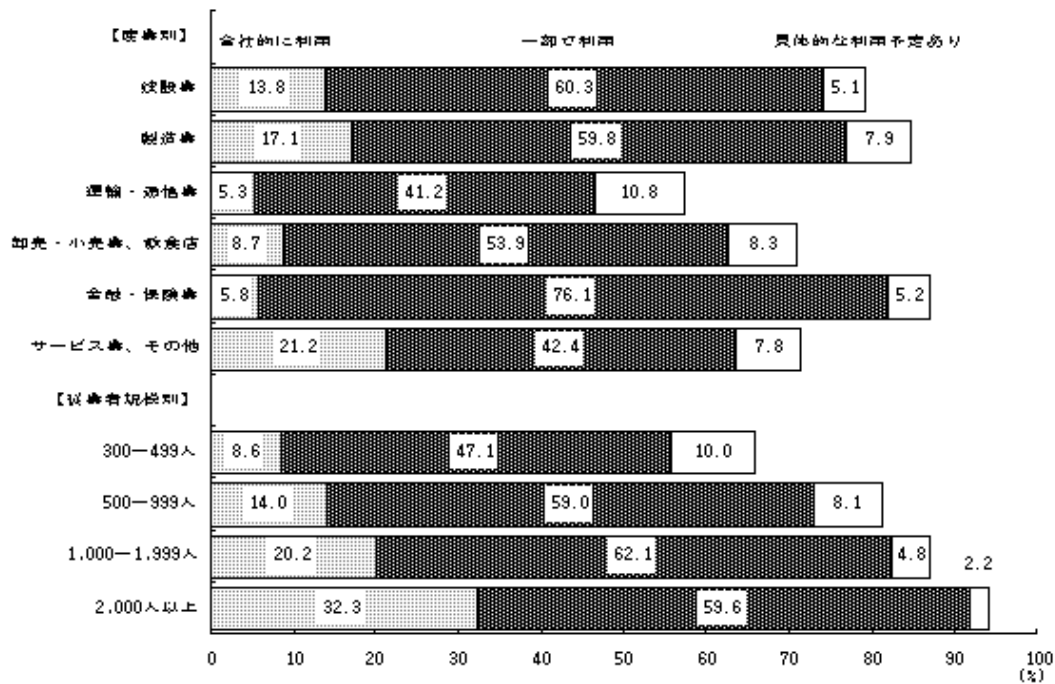
インターネットの利用率は68.2%で、前年調査から17.8ポイント増加。そのうち、「全社的に利用」は14.2%。

企業の属性別にみると、産業では「金融・保険業」が81.9%で最も多く。従業員規模別では大規模企業ほど利用率が高く、2,000人以上の企業では9割(91.9%)を超える。

図Ⅱ-2-1 インターネットの利用状況の推移



図Ⅱ-2-2 インターネットの利用状況(企業属性別)



企業編

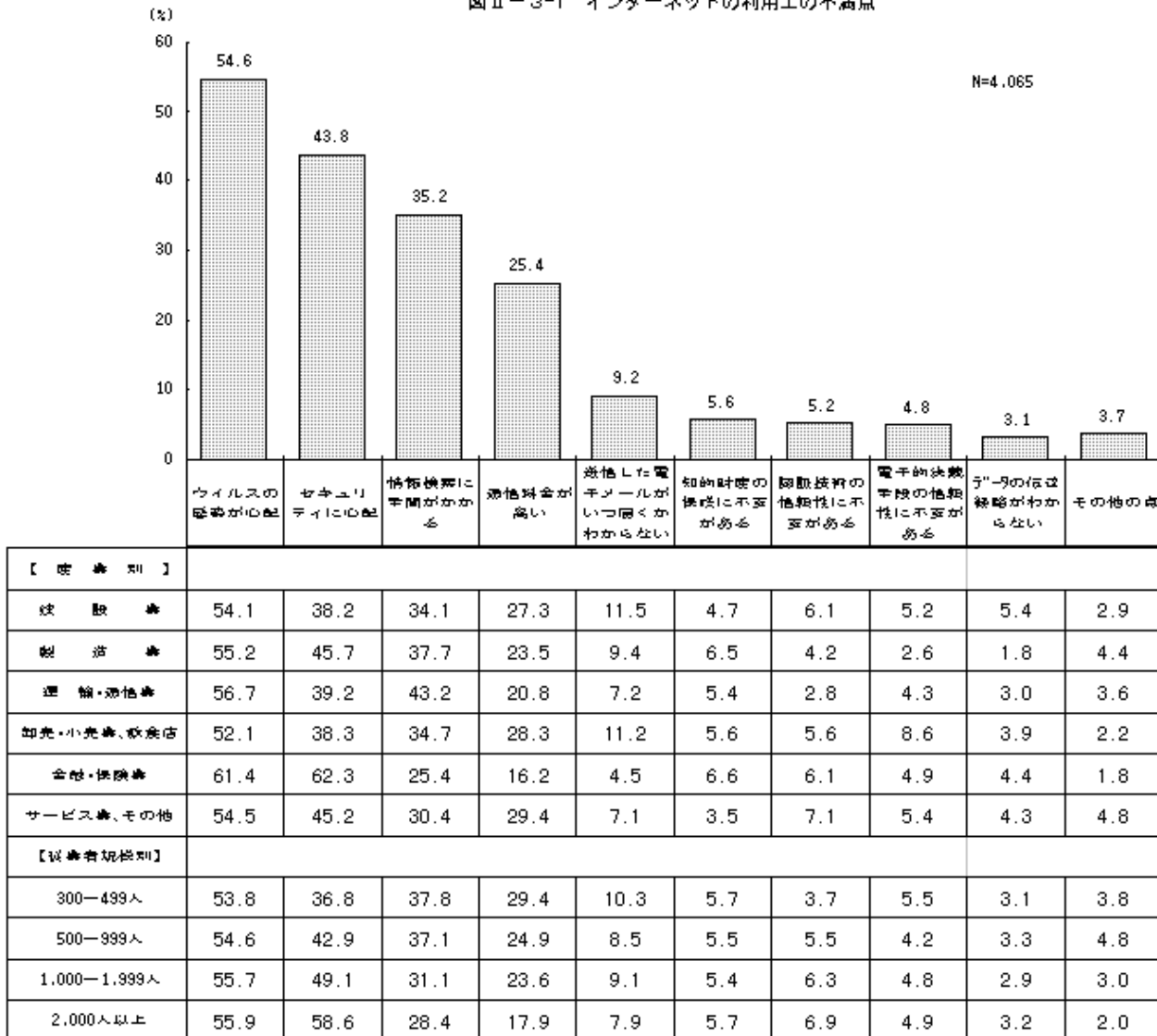
【 パソコン通信サービス・インターネット 】

3 インターネットの利用上の不満点

インターネットの利用上の不満点は、「ウイルスの感染が心配」が54.6%で最も多く、次いで「セキュリティに心配」が43.8%で、「情報検索に手間がかかる」が35.2%と続いている。

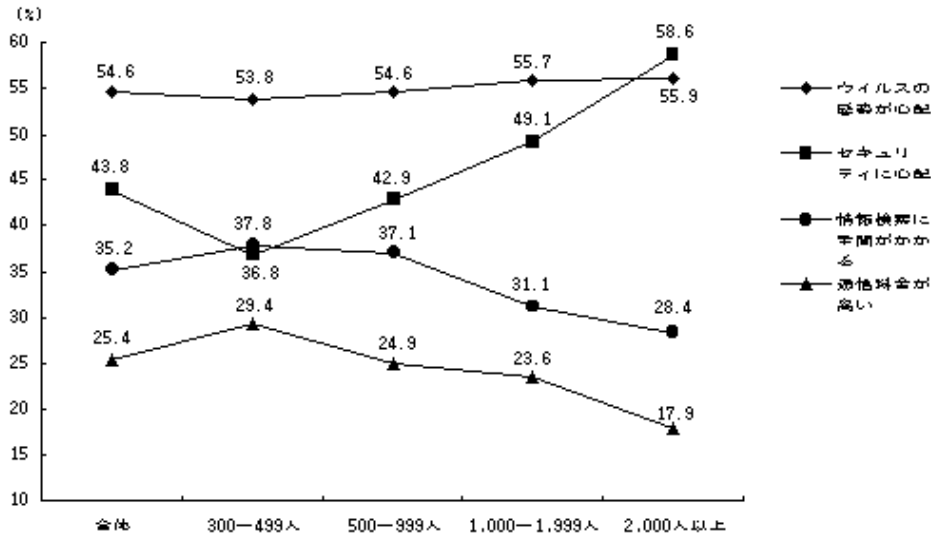
ウイルスの感染が心配と回答した企業は、従業員規模に関係なく高いが、「セキュリティに心配・情報検索に手間がかかる」は従業員規模が大きくなるほど不満が高く、「通信料金が低い」は従業員規模が小さくなるほど不満が高い。

図Ⅱ-3-1 インターネットの利用上の不満点



※ 回答を最高3つまでして選択肢し、重視する順に記入をしてもらった。集計に当たっては、1番目に重視する項目に3点、2番目に重視する項目に2点、3番目に重視する項目に1点を与え、回答企業数に最高得点の3を乗じた数を基数にして、それぞれの割合を求めた。

図Ⅱ-3-2 インターネットの利用上の不満点(従業員規模別)



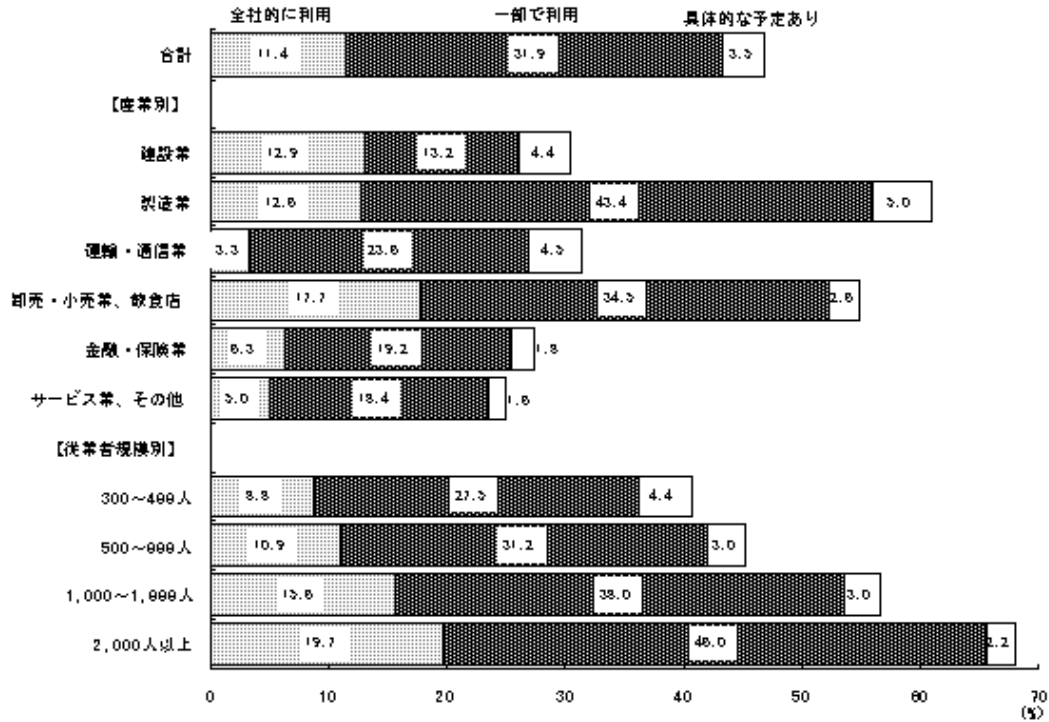
企業編

【VAN サービス】

1 VANサービスの利用状況

VANサービスを利用している企業は43.3%で、そのうち「全社的に利用」が11.4%。
 企業属性別にみると、産業では「製造業」が55.9%、「卸売・小売業、飲食店」が52.2%と高く、従業員規模別では大規模企業ほど利用率が高い。

図Ⅲ-1 VANサービスの利用状況(企業属性別)

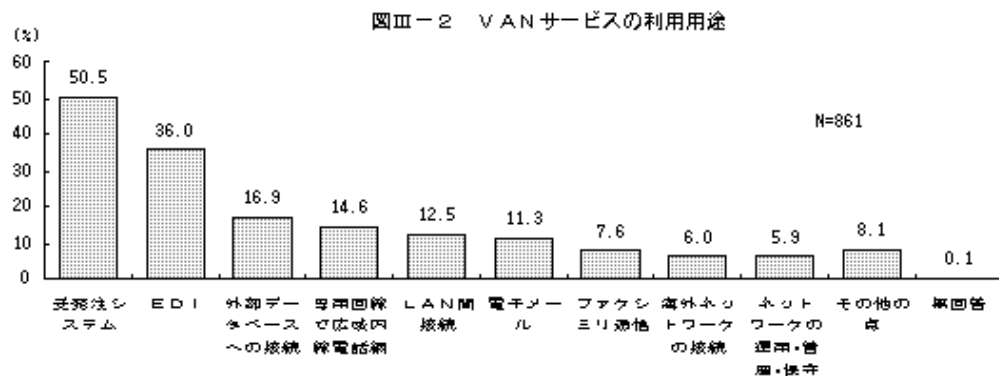


企業編

【VAN サービス】

2 VANサービスの利用用途

VANサービスの利用用途は、「受注発注システムに利用」が50.5%で多く、「EDIに利用」が36.0%と続いている。



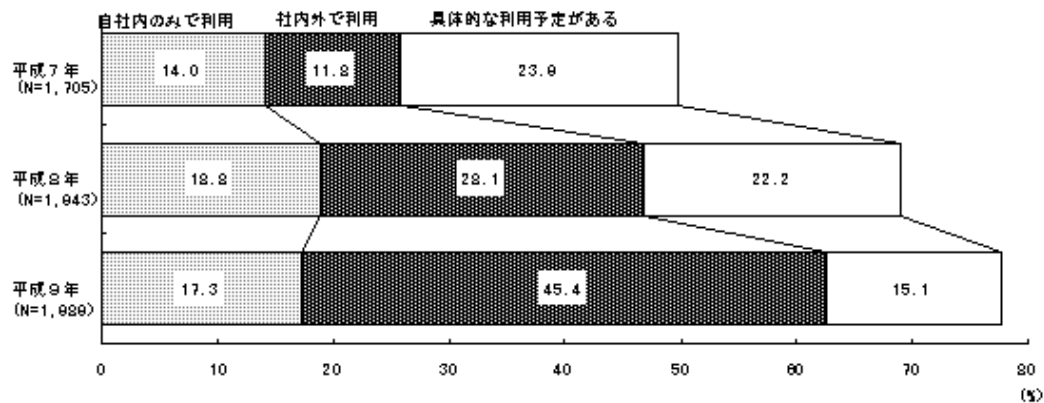
企業編

【 電子メール 】

1 電子メールの利用状況

電子メールの利用率は62.7%で、前年調査と比較すると15.8ポイント増加。「自社内のみで利用」は17.3%(前年調査18.8%)で、1.5ポイントの減少。しかし、「社内外で利用している」は45.4%(同28.1%)で、17.3ポイントの大幅な増加となっている。

図IV-1 電子メールの利用状況の推移



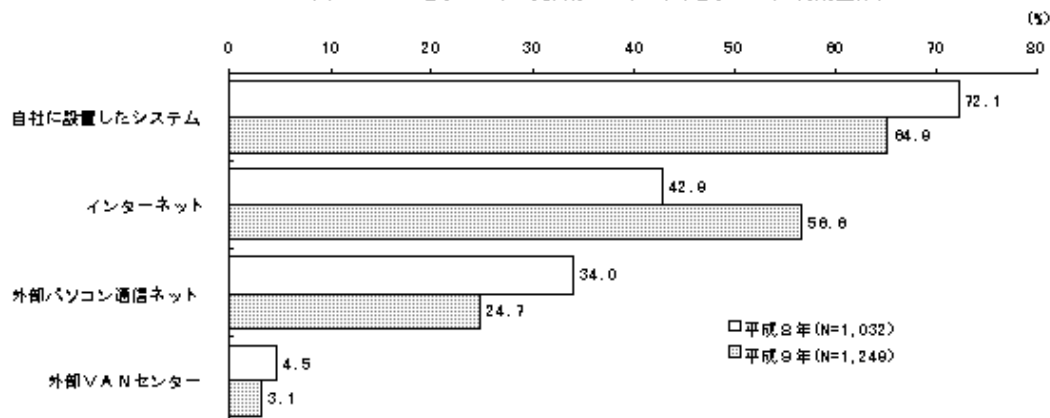
企業編

【 電子メール 】

2 電子メールの採用システム

電子メールの採用システムは、「自社に設置したシステムを利用」が64.9%で多く、次いで「インターネットを利用」が56.6%、「外部パソコン通信ネットワークを利用」が24.7%と続いている。前年調査と比較すると、「インターネットを利用している」以外はすべて減少しており、電子メールの採用システムにインターネットを利用する企業が増加している。

図Ⅳ-2 電子メールの採用システム（電子メール利用企業）



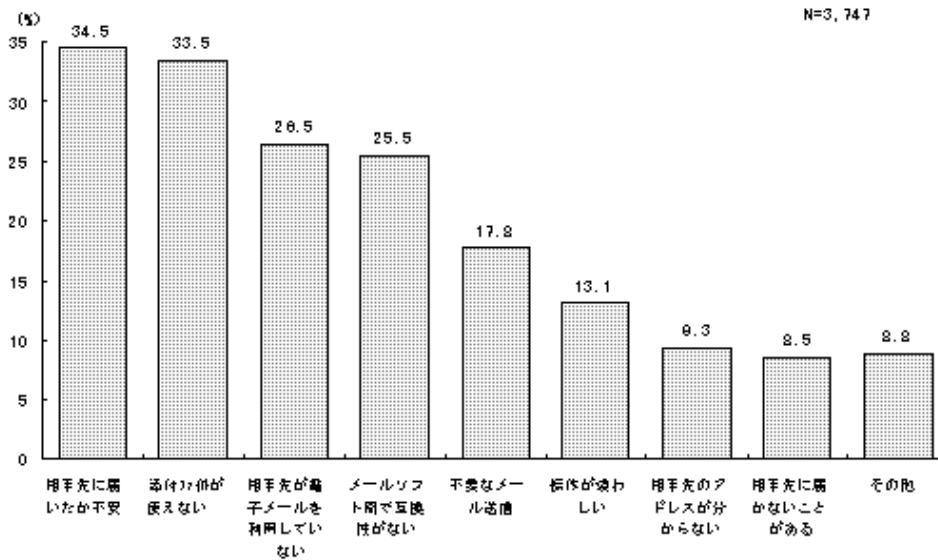
企業編

【 電子メール 】

3 電子メール利用上の不満点

電子メール利用上の不満点は、「相手先に届いたかどうか不安」が34.5%で最も多く、次いで「送信された添付ファイルが使用できない」が33.5%、「相手先が電子メールを利用していない」が26.5%と続いている。

図IV-3 電子メール利用上の不満点（電子メール利用企業）



※ 回答を最高3つまで選択し、重視する順に記入をもらった。
集計に当たっては、1番目に重視する項目に3点、2番目に重視する項目に2点、3番目に重視する項目に1点を与え、回答企業数に最高得点の3を乗じた数を基準にして、それぞれの割合を求めた。

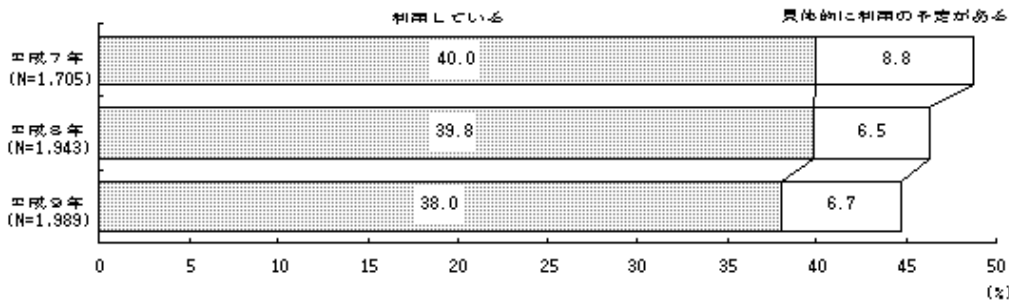
企業編

【 EDI 】

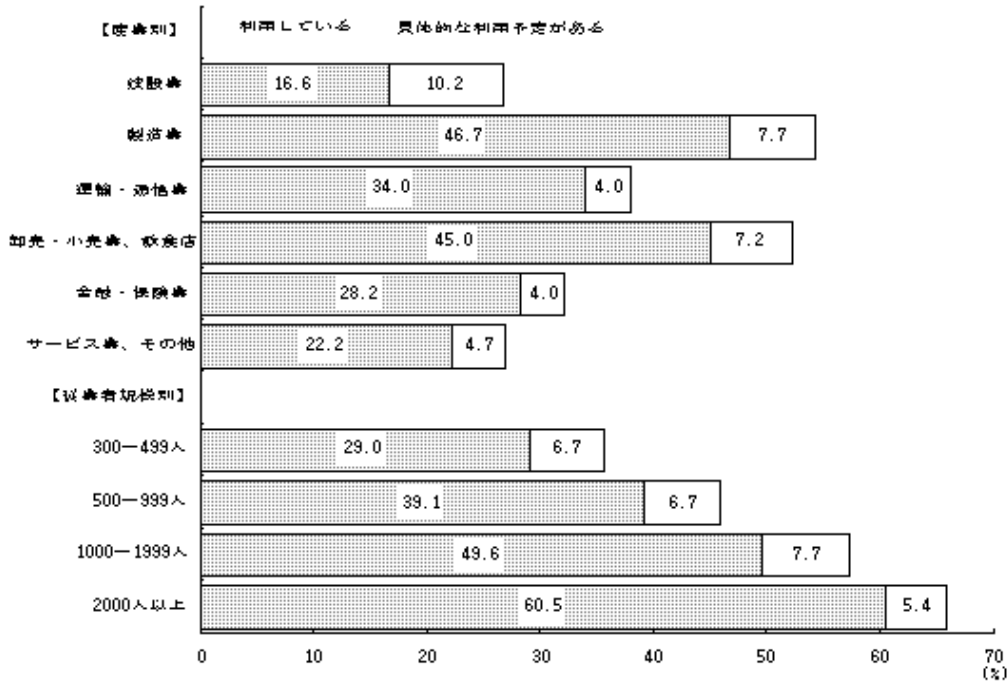
1 EDIの利用状況

EDIの利用率は38.0%で、前年調査と比較すると1.8ポイント減少している。
 企業属性別にみると、産業別では「製造業」が46.7%で最も多く、次いで「卸売・小売業、飲食店」45.0%。従業員規模別では大規模企業ほど利用率が高く、2,000人以上の企業では60.5%。

図V-1-1 EDIの利用状況



図V-1-2 EDIの利用状況(企業属性別)



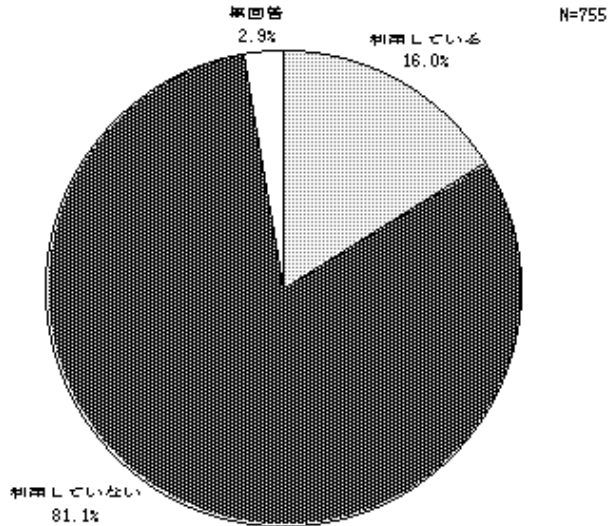
企業編

【 EDI 】

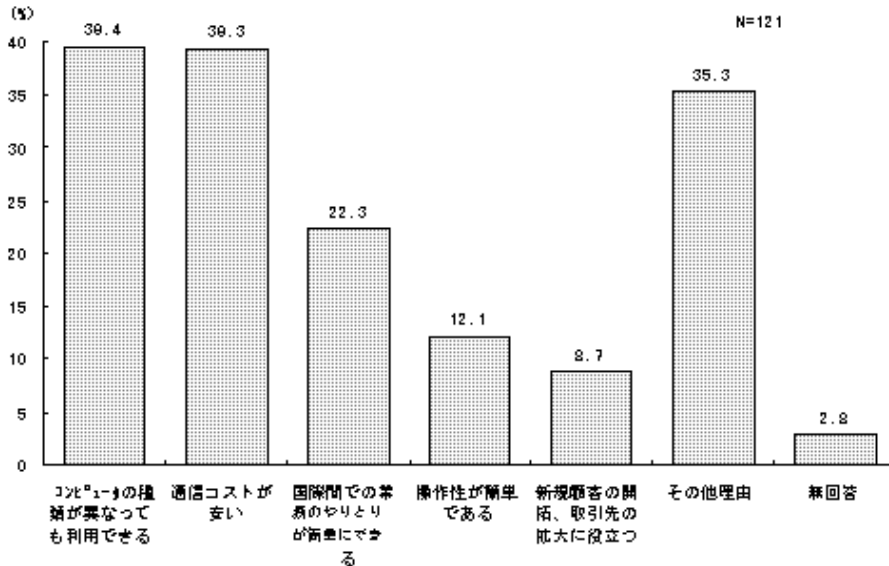
2 インターネットを活用したEDIの利用状況と理由

EDIをインターネットで利用している企業は16.0%。インターネット活用理由は「コンピュータの種類が異なっても利用できる」が39.4%で最も多く、「通信コストが安い」が39.3%、「国際間での業務のやり取りが簡単にできる」が22.3%と続いている。

図V-2-1 インターネットを活用したEDIの利用状況（EDI利用企業）



図V-2-2 EDIにインターネットを活用した理由（インターネットを活用したEDIの利用企業）

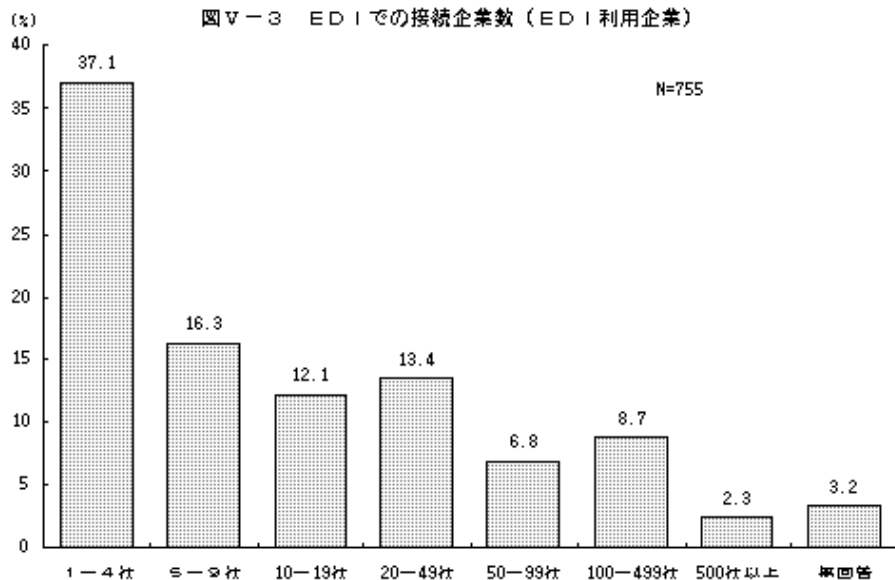


企業編

【 E D I 】

3 E D Iの接続企業数

E D Iの接続企業数は1～4社が37.1%で最も多く、接続企業数が50社未満の割合は約8割(78.9%)を超える。



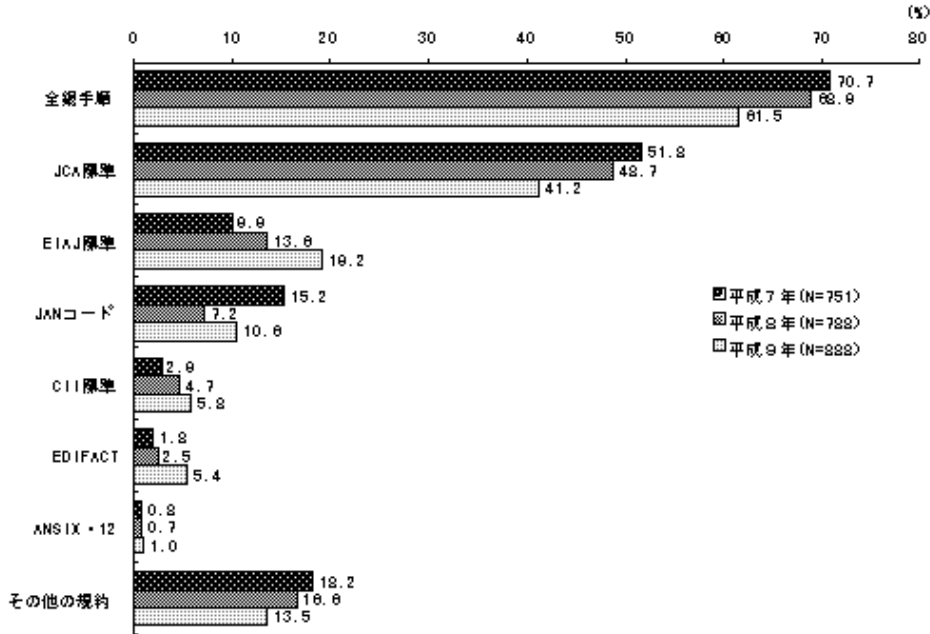
企業編

【 E D I 】

4 E D I の情報表現規約

E D I 利用企業において、情報表現規約として最も多く利用されているのは、「全銀手順」61.5%であり、「J C A 標準」41.2%、「E I A J 標準」19.2%と続いている。

図 V - 4 E D I の情報表現規約 (複数回答) (E D I 利用企業)



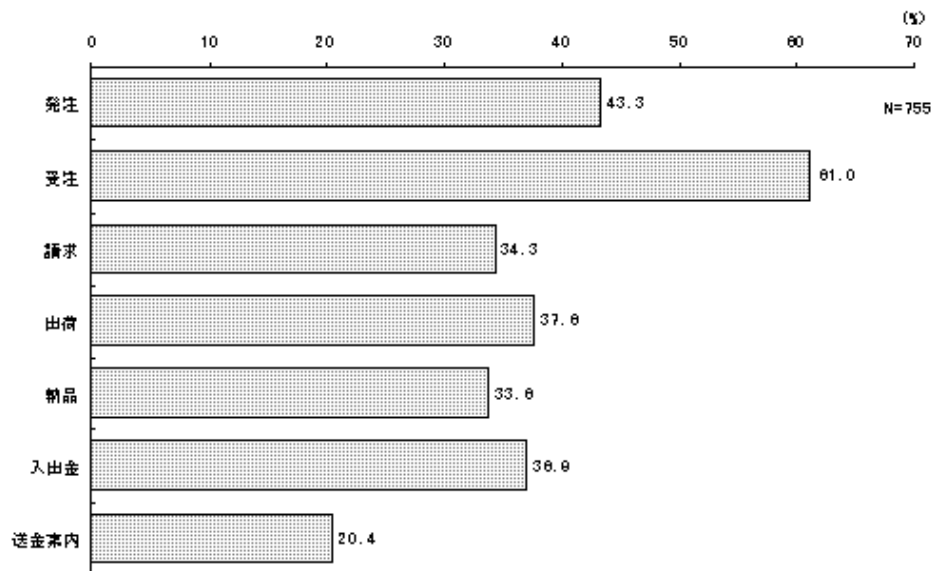
企業編

【 EDI 】

5 EDIでデータ交換する業務

EDI利用企業がデータ交換を実施している業務としては、受注が61.0%で最も多く、次いで発注が43.3%で、出荷が37.6%と続いている。

図V-5 EDIでデータ交換を実施している業務内容（EDI利用企業）



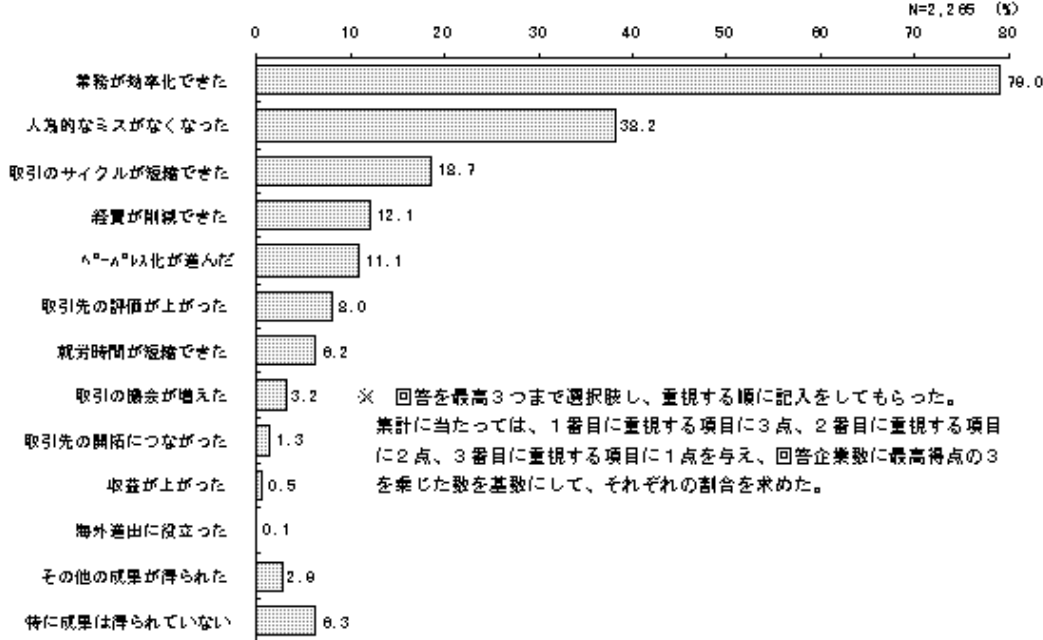
企業編

【 E D I 】

6 E D I 利用による具体的成果

E D I の利用による具体的成果として、「業務が効率化できた」が79.0%で最も多く、人為的なミスがなくなった」が38.2%で、「取引のサイクルが短縮できた」が18.7%と続いている。

図 V - 6 E D I 利用による具体的成果 (複数回答) (E D I 利用企業)



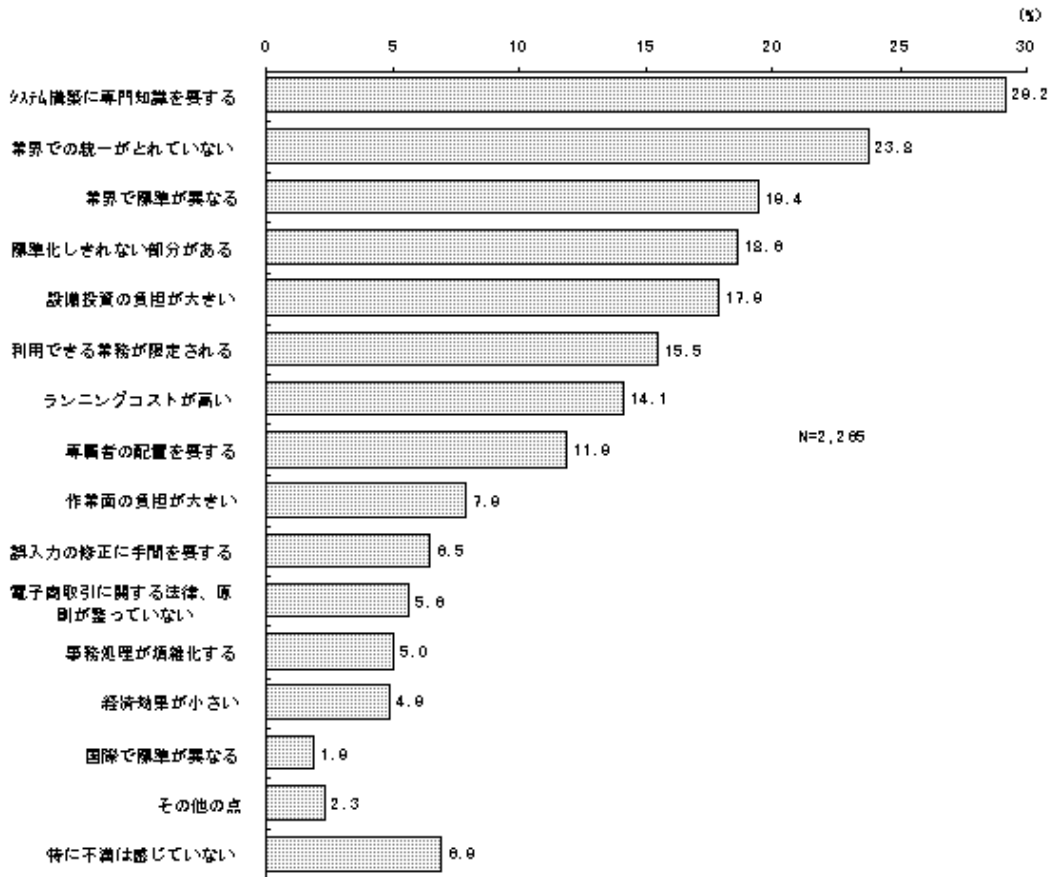
企業編

【 EDI 】

7 EDI 利用上の不満点

EDI を利用する上で不満に感じている点としては、「システム構築に専門知識を要する」が 29.2% と多く、次いで「業界での統一がとれていない」が 23.8%、「業界で標準が異なる」19.4% と続いている。

図 V-7 EDI 利用上の不満点 (複数回答) (EDI 利用企業)



※ 回答を最高3つまで選択肢し、重視する順に記入をしてもらった。集計に当たっては、1番目に重視する項目に3点、2番目に重視する項目に2点、3番目に重視する項目に1点を与え、回答企業数に最高得点の3を乗じた数を基数にして、それぞれの割合を求めた。

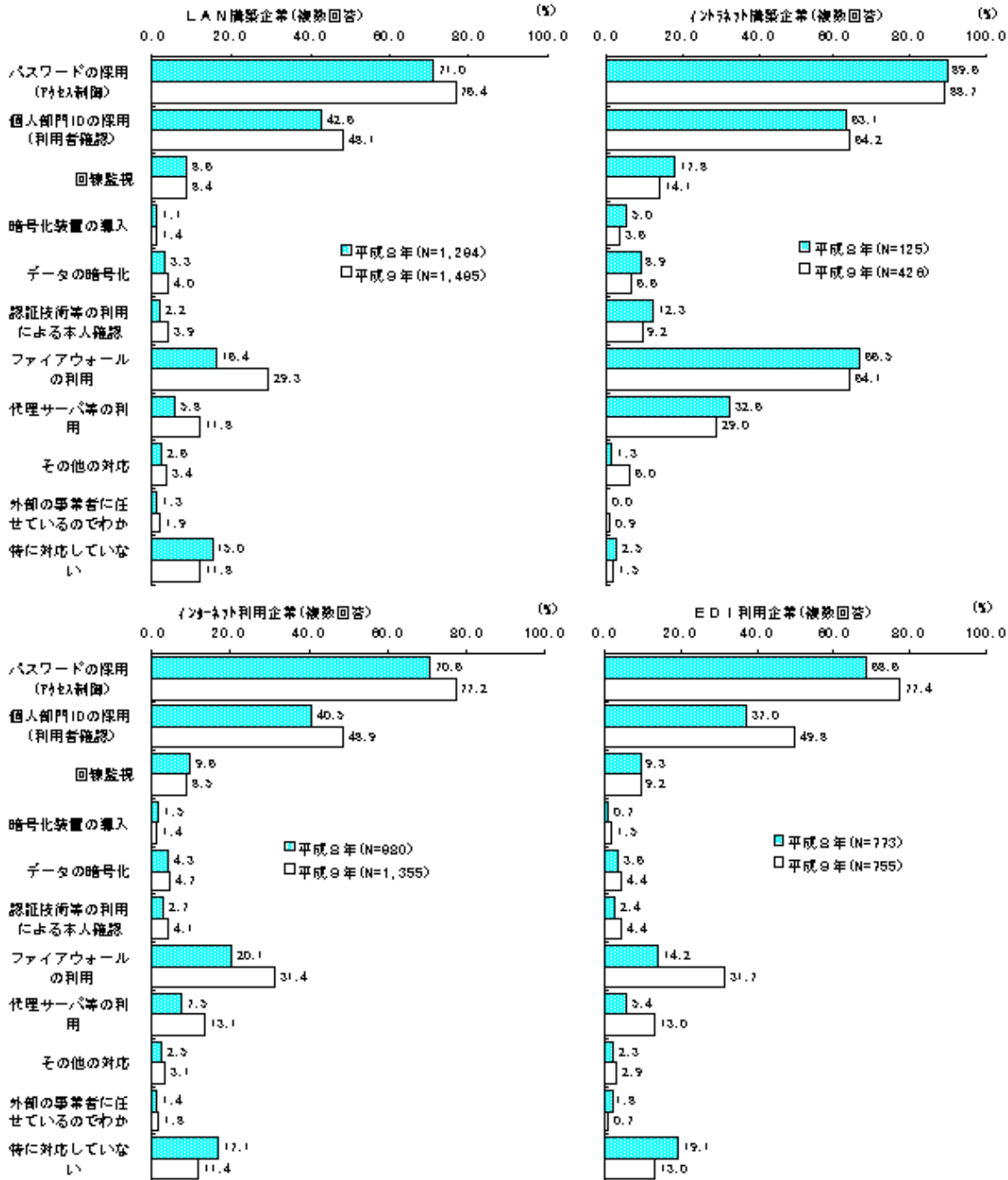
企業編

【 通信ネットワークの安全対策 】

1 データセキュリティへの対応状況

LAN・イントラネット構築企業、インターネット・EDI利用企業のデータセキュリティへの対応状況について前年調査と比較すると、いずれも特に対応していないと回答した企業の割合は減少している。特にイントラネット構築企業では特に対応していないと回答した企業は1.5%。

図VI-1 データセキュリティへの対応状況(複数回答)



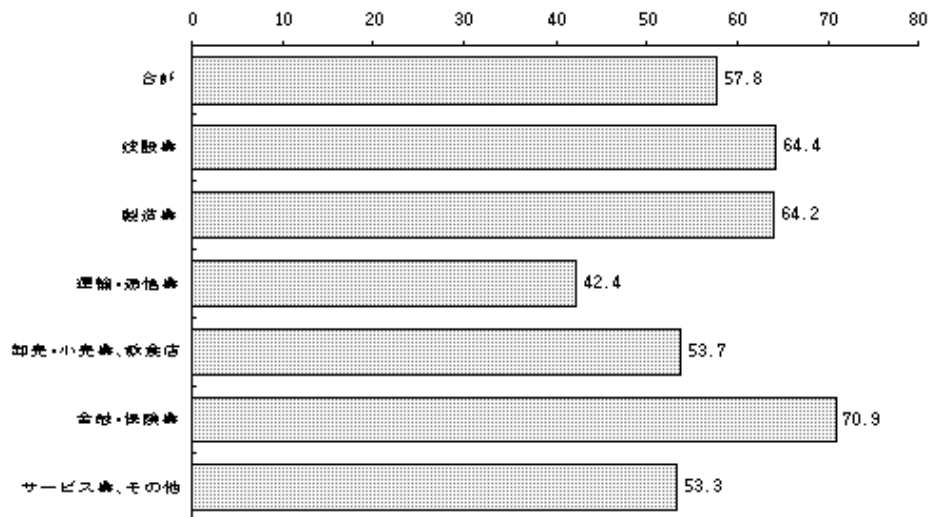
企業編

【 通信ネットワークの安全対策 】

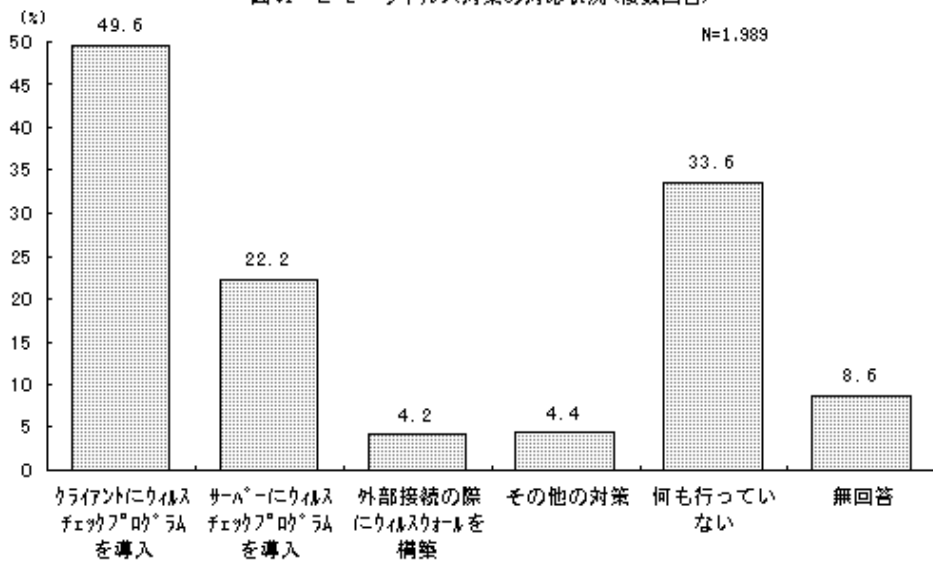
2 ウイルス対策状況

ウイルス対策を行っている企業の割合は57.8%。産業別にみると、金融・保険業が最も高く70.9%の企業が何らかのウイルス対策を行っている。対策の内容についてはクライアントにウイルスチェックプログラムを導入している企業が49.6%が多い。

図VI-2-1 ウイルス対策を行っている企業の割合(産業別) (%)



図VI-2-2 ウイルス対策の対応状況(複数回答) (%)



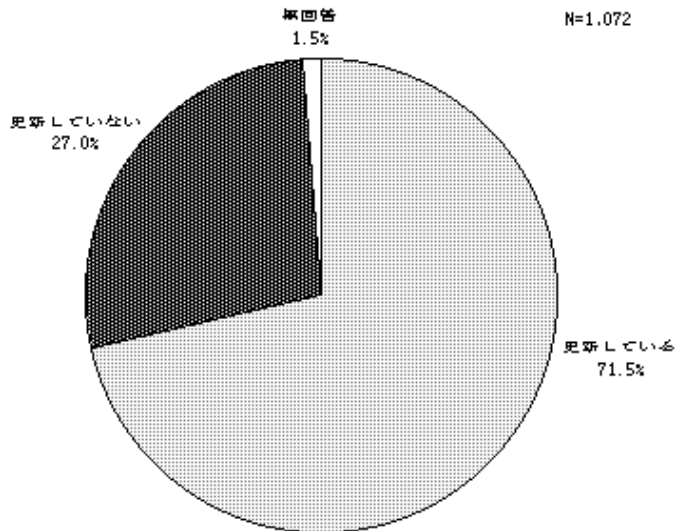
企業編

【 通信ネットワークの安全対策 】

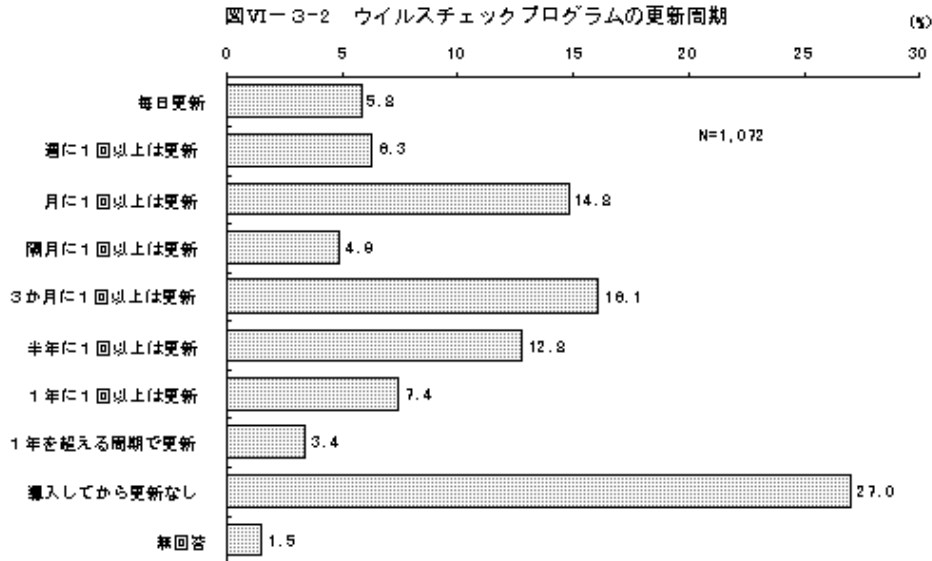
3 ウィルスチェックプログラムの更新周期

ウィルスチェックプログラムを更新している企業は71.5%で、その周期をみると、「毎日更新」は5.8%、「週に1回以上は更新」は6.3%、「月に1回以上は更新」は14.8%であった。

図VI-3-1 ウィルスチェックプログラムの更新状況



図VI-3-2 ウィルスチェックプログラムの更新周期



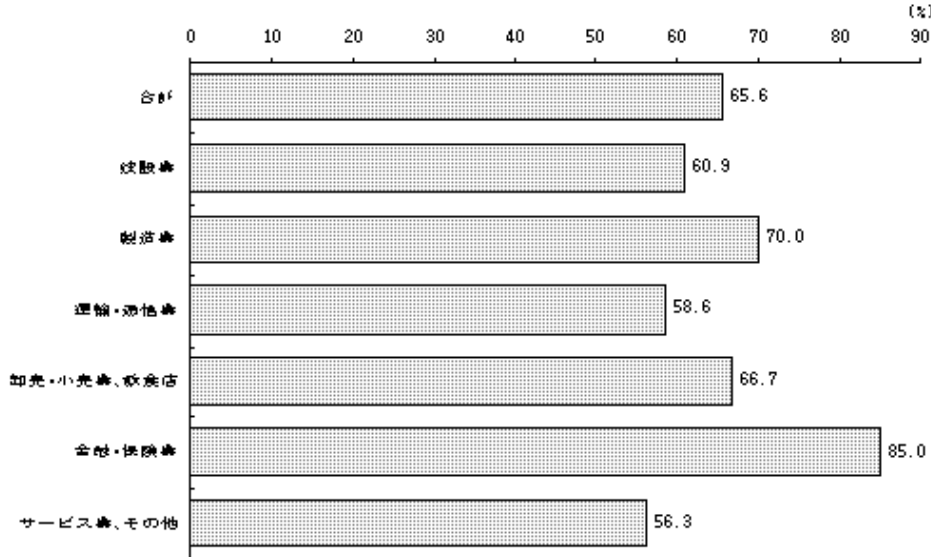
企業編

【 通信ネットワークの安全対策 】

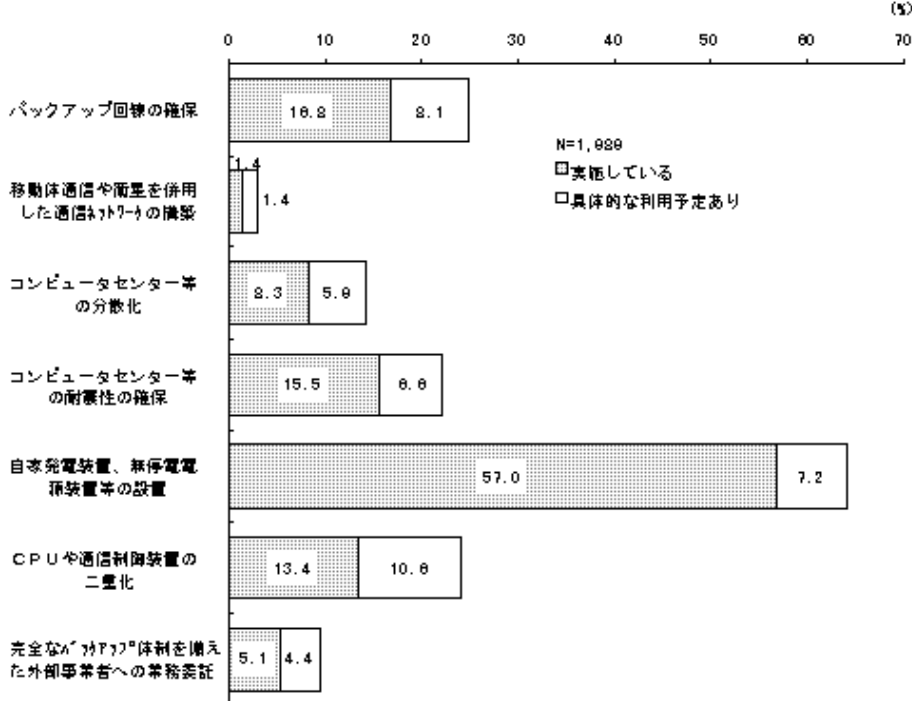
4 バックアップ対策の実施状況

バックアップ対策の実施割合は65.6%、産業別では金融・保険業が85.0%と高い。対策の内容は、「自家発電装置、無停電電源装置等の設置」が57.0%で最も高く、次いで「バックアップ回線の確保」が16.8%、「コンピュータセンター等の耐震性の確保」が15.5%と続いている。

図VI-4-1 バックアップ対策を行っている企業の割合(産業別)



図VI-4-2 バックアップ対策の対応状況



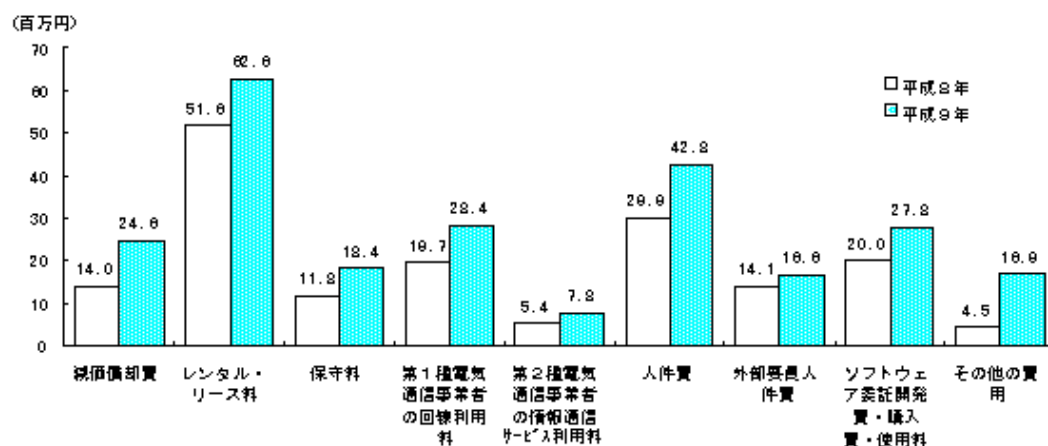
企業編

【 通信ネットワーク関係費用 】

1 通信ネットワーク関係費用平均額

各費用の平均額の中でレンタル・リース料が最も高く(62.6百万円)、人件費(42.8百万円)、回線利用料(28.4百万円)と続いている。

図Ⅷ-1 通信ネットワーク関係費用の平均額



※ 平成9年調査のネットワーク経費は平成8年度(平成8年4月～平成9年3月)の経費であり、平成8年調査のネットワーク経費は平成7年度(平成7年4月～平成8年3月)の経費

表Ⅷ-1 企業規模別ネットワーク経費

(単位：百万円)

従業者規模	機器	人件費	通信費	その他	合計	対前年伸び率(%)
300～499人	15.9 (0.1)	18.5 (0.5)	6.8 (0.3)	9.8 (2.2)	51.0 (3.1)	6.5
500～999人	33.1 (△4.7)	38.9 (14.6)	13.0 (△3.2)	27.2 (6.7)	112.2 (13.4)	13.6
1,000～1,999人	81.3 (△9.5)	63.0 (1.9)	64.8 (28.3)	50.1 (1.0)	259.2 (21.7)	9.1
2,000人以上	672.7 (336.4)	345.1 (145.0)	235.6 (117.8)	495.1 (301.2)	1748.5 (900.4)	106.2

※ () は前回調査からの増減額

※ 「ネットワーク機器」とは通信ネットワークを構成しているコンピューターや端末機等の減価償却費とレンタル・リース料の合計金額

「人件費」とは自社内の情報通信関連部門の人件費と社外のシステムエンジニア、プログラマー等に費やした外部要員人件費の合計金額

「通信費」とは第1種電気通信事業者の回線利用料と第2種電気通信事業者の情報通信サービス利用料の合計金額

「その他」とは保守料とソフトウェア委託開発費・購入費・使用料とその他の費用の合計金額

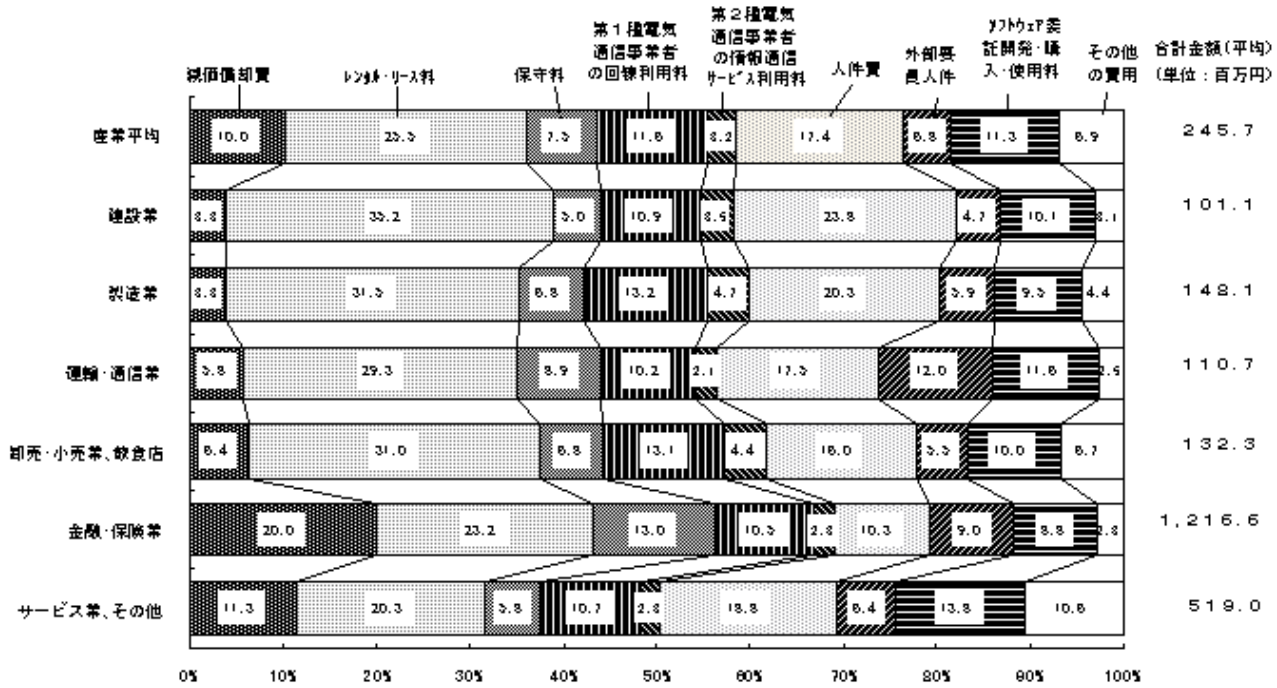
企業編

【 通信ネットワーク関係費用 】

2 通信ネットワーク関係費用構成比

産業別にみると建設業ではレンタル・リース業(35.2%)、人件費(23.8%)の比率が高く、金融・保険業では減価償却費(20.0%)、保守料(13.0%)が高い。

図Ⅳ-2 通信ネットワーク関係費用構成比





郵政省 (平成9年) 通信利用動向調査 調査票 《企業》

◎ この調査は、統計報告調整法に基づく承認を得て実施するもので、調査票は統計作成以外の目的に使用されることはありませんので、ありのままをご記入下さい。

(記入に当たっては、次の点にご注意ください。)

- 1 調査期日は平成9年10月1日現在でご記入願います。
- 2 提出先 〒141 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージズビル
(照会先) 社団法人 中央調査社
TEL : 03(3449)4511、FAX : 03(3449)4516
- 3 本調査は、郵政省が上記調査社に委託して実施するものです。

(あて名ラベル貼付位置)	本調査票を作成していただいた方の所属部署名	
	本調査票を作成していただいた方のお名前	
	ご連絡先の電話番号	

問1 企業内通信網についてお尋ねします。

(1) 貴社では、LANやイントラネットを構築しておられますか。それぞれ該当する番号に○印を付けてください。

	全社的に構築している	一部の事業所または部門で構築している	構築していないが具体的に構築する予定がある	構築していないし具体的な予定もない
① LAN.....	1	2	3	4
② イン트라ネット.....	1	2	3	4

(5)へ

(2) 貴社では、携帯情報端末などを利用して、外出先等から企業内通信網に接続できますか。LAN、イントラネットの別に該当する番号に○印を付けてください。

	接続できる	接続できないが具体的に接続する予定がある	接続できないし具体的な予定もない
① LAN.....	1	2	3
② イン트라ネット.....	1	2	3

(3) LANやイントラネットに接続されている端末を何人に1台の割合で配備されていますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 1人に1台	2. 2人に1台	3. 3人に1台	4. 4人に1台	5. 5人以上に1台
----------	----------	----------	----------	------------

次ページ(4)へ

(4) 貴社では、LANやイントラネットを利用する上において、どのような問題点を認識されていますか。該当する番号を3つまで選び、重視する順に記入してください。

1. セキュリティ対策の確立が難しい	7. 社外秘情報の漏洩防止が困難
2. 運用・管理、人材育成の費用が増大	8. 導入成果が得られていない
3. 運用・管理者の人材が不足	9. その他の問題点
4. 障害の復旧に時間がかかる	10. 特に課題はなかった
5. 公開情報の作成が困難	
6. サーバーへの接続に時間がかかる	

1 番目		2 番目		3 番目	
------	--	------	--	------	--

(5) 貴社では、どのような目的でLANやイントラネットを構築しましたか。該当する番号を3つまで選び、重視する順に記入してください。（これからLANやイントラネットを構築される企業は、予定としてお答えください。）

1. 業務情報やデータの共有化	9. パソコンを利用したテレビ会議の実現
2. アプリケーションの共有化	10. 電子商取引の実現
3. プリンターなどの出力装置の共有化	11. 配線の簡素化
4. 伝送速度の向上	12. ダウンサイジング
5. グループウェアやワークフローの実現	13. マルチメディアへの対応
6. 電子メールサービスの実現	14. その他の課題
7. 文書決済システムの実現	15. 特に課題はなかった
8. 財務・経理システムなどの実現	

1 番目		2 番目		3 番目	
------	--	------	--	------	--

<この質問は、LANを構築、または、構築する予定のある企業のみお答えください。>

(6) 貴社のLANの種類はどれですか。該当する番号すべてに○印を付けてください。（これからLANを構築される企業は、予定としてお答えください。）

1. CSMA/CD(イーサネット) 10BASE-5、10BASE-2	6. FDDI
2. " 10BASE-T	7. メーカー独自開発LAN
3. " 100BASE-T	8. 無線LAN
4. トークンリング(FDDIを除く。)	9. ATM-LAN
5. トークンバス	10. その他のLAN

<この質問は、イントラネットを利用しておられる企業のみお答えください。>

(7) 貴社では、エクストラネットを利用しておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 利用している
2. 利用していないが具体的に利用する予定がある
3. 利用していないし具体的な予定もない

問2 パソコン通信サービスとインターネットについてお尋ねします。

(1) 貴社では、パソコン通信サービスやインターネットを利用しておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

	全社的に利用している	一部の事業所または部門で利用している	利用していないが具体的に利用する予定がある	利用していないし具体的な予定もない
① パソコン通信サービス…	1	2	3	4
② インターネット……………	1	2	3	4

<この質問は、インターネットを利用しておられる企業のみお答えください。>

(2) 貴社では、インターネットを利用する上で、どのような点に不満を感じておられますか。該当する番号を3つまで選び、不満の大きい順に記入してください。

1. 情報検索に手間がかかる	7. 電子的決済手段の信頼性に不安がある
2. 知的財産の保護に不安がある	8. 送信した電子メールがいつ届くか分からない
3. ウィルスの感染が心配である	9. 通信料金が高い
4. セキュリティに心配がある	10. その他の点
5. 認証技術の信頼性に不安がある	11. 特に不満は感じていない
6. データの伝達経路がわからない	

1 番目		2 番目		3 番目	
------	--	------	--	------	--

問3 VANサービスについてお尋ねします。

(1) 貴社では、VANサービスを利用しておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 全社的に利用している
2. 一部の事業所又は部門で利用している
3. 利用していないが具体的に利用する予定がある
4. 利用していないし具体的な予定もない

(2) 貴社では、VANサービスをどのように利用されていますか。該当する番号すべてに○印を付けてください。

1. 専用回線で広域内線電話網に利用している	6. EDIに利用している
2. ファクシミリ通信に利用している	7. 受発注システムを利用している
3. LAN間接続に利用している	8. 海外ネットワークの接続に利用している
4. 電子メールに利用している	9. ネットワークの運用・管理・保守に利用している
5. 外部データベースへの接続に利用している	10. その他に利用している

問4 電子メールについてお尋ねします。

(1) 貴社では、電子メール（インターネットの電子メールを含む。）を利用しておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 自社内でのみ利用している
2. 社内外で利用している
3. 利用していないが具体的に利用する予定がある
4. 利用していないし、具体的な予定もない

(2) 貴社の電子メールは、どのようなシステムを採用されていますか。該当する番号すべてに○印を付けてください。

1. 自社(関連会社を含む。)に設置したシステム	3. 外部VANセンター(パソコン通信ネットを除く。)
2. 外部パソコン通信ネット	4. インターネット

(3) 貴社では、電子メールを利用する上で、どのような点に不満を感じておられますか。該当する番号を3つまで選び、不満の大きい順に記入してください。

1. 相手先が電子メールを利用していないことが多い	7. 不要なメールが送信されてくる
2. 相手先のアドレスが分からない	8. 操作が煩わしい
3. 相手先に届いたか不安	9. その他の不満点
4. 相手先に届かないことがある	10. 特に不満は感じていない
5. 添付ファイルが送信されても使用できない場合がある	
6. メールソフト間で互換性がない場合がある	

1 番目		2 番目		3 番目	
------	--	------	--	------	--

問5 EDI (電子データ交換) (*)についてお尋ねします。

(1) 貴社では、EDI (電子データ交換)を利用しておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 利用している
2. 利用していないが具体的に利用の予定がある
3. 利用していないし具体的な予定もない

注：EDI (電子データ交換) (*)とは、異なる企業間で、広く合意された標準的な規約を用い、商取引データをコンピュータと通信を使って交換する仕組みのこと。

(4)へ

(2) 貴社では、インターネットを活用してデータ交換を行っておられますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. すべての業務で活用している	3. 活用していない
2. 一部の業務で活用している	

どのような理由からインターネットを活用してEDIを利用されましたか。該当する番号すべてに○印を付けてください。

1. 国際間での業務のやり取りが簡単にできる	4. 通信コストが安い
2. コンピュータの種類が異なっても利用できる	5. 新規顧客の開拓、取引先の拡大に役立つ
3. 操作性が簡単である	6. その他の理由

(3) 貴社では、EDIによって何社と接続されていますか。企業数を数字で記入してください。

				社
--	--	--	--	---

(4) 貴社では、EDIにどの情報表現規約をお使いですか。該当する番号すべてに○印を付けてください。(これからEDIを利用される企業は、予定としてお答えください。)

1. EDIFACT	4. JCA標準(I手順、H手順)	7. 全銀手順
2. EIAJ標準	5. JANコード	8. その他の規約
3. CII標準	6. ANSI X.12	

(5) 貴社では、どのような業務でEDIによるデータ交換を実施されていますか。該当する番号に○印を付けてください。

	実施している	実施していない	
		具体的に実施の予定がある	具体的な実施の予定がない
① 発注	1	2	3
② 受注	1	2	3
③ 請求	1	2	3
④ 出荷	1	2	3
⑤ 納品	1	2	3
⑥ 入出金	1	2	3
⑦ 送金案内	1	2	3

次ページ(6)へ

(6) 貴社では、E D I を利用することによって、何か具体的成果が得られましたか。該当する番号を3つまで選び、成果が大きい順に数字を記入してください。

1. 業務の効率化ができた	8. 海外進出に役立った
2. 人為的なミスがなくなった	9. 取引先の評価が上がった
3. 取引のサイクルが短縮できた	10. 取引先の開拓につながった
4. 取引の機会が増えた	11. 収益が上がった
5. 経費が削減できた	12. その他の成果が得られた
6. ペーパーレス化が進んだ	13. 特に成果は得られていない
7. 就労時間が短縮できた	

1 番目		2 番目		3 番目	
------	--	------	--	------	--

(7) 貴社では、E D I を利用する上で、どのような点に不満を感じておられますか。該当する番号を3つまで選び、不満の大きい順に数字を記入してください。

1. 設備投資の負担が大きい	10. 国際で標準が異なる
2. ランニングコストが高い	11. 業界での統一がとれていない
3. 作業面の負担が大きい	12. 標準化しきれない部分がある
4. 事務処理が煩雑化する	13. 誤入力の修正に手間を要する
5. 専属者の配置を要する	14. 電子商取引に関する法律、原則が整っていない
6. システム構築に専門知識を要する	15. その他の点
7. 利用できる業務が限定される	16. 特に不満は感じていない
8. 経済効果が小さい	
9. 業界で標準が異なる	

1 番目		2 番目		3 番目	
------	--	------	--	------	--

問6 通信ネットワークの安全対策についてお尋ねします。

(1) 貴社では、通信ネットワークのデータセキュリティに関して、どのように対応されていますか。該当する番号すべてに○印を付けて下さい。

1. パスワードの採用によるアクセス制御	7. ファイアウォールの利用
2. 個人又は部門 I D の採用による利用者確認	8. 代理サーバー等の利用
3. 回線監視	9. その他の対応
4. 暗号化装置の利用	10. 外部の事業者に任せているので分からない
5. データの暗号化(暗号化装置は利用しない)	11. 特に対応していない
6. 認証技術等の利用による本人確認	

(2) 貴社では、ウィルス対策をどのように行っていますか。該当する番号すべてに○印を付けてください。

1. クライアントにウィルスチェックプログラムを導入している
2. サーバーにウィルスチェックプログラムを導入している
3. 外部接続の際にウィルスウォールを構築している
4. その他の対策
5. 何も行っていない

<この質問は、ウィルスチェックプログラムを導入しておられる企業のみお答えください。>

(3) 貴社では、ウィルスチェックプログラムをどれくらいの周期で更新されますか。該当する番号に○印を付けてください。

1. 毎日更新している	6. 半年に1回以上は更新している
2. 週に1回以上は更新している	7. 1年に1回以上は更新している
3. 月に1回以上は更新している	8. 1年を超える周期で更新している
4. 隔月に1回以上は更新している	9. 導入してから更新していない
5. 3ヶ月に1回以上は更新している	

(4) 貴社では、通信ネットワークのバックアップに関して、どのような対策を実施されていますか。該当する番号に○印を付けてください。

	実施している	実施していないが具体的に実施する予定がある	実施していないし具体的な予定もない
① バックアップ回線の確保	1	2	3
② 移動体通信や衛星を併用した通信ネットワークの構築	1	2	3
③ コンピュータセンター等の分散化	1	2	3
④ コンピュータセンター等の耐震性の確保	1	2	3
⑤ 自家発電装置、無停電電源装置等の設置	1	2	3
⑥ CPUや通信制御装置の二重化	1	2	3
⑦ 完全なバックアップ体制を備えた外部事業者への業務委託	1	2	3

問7 通信ネットワーク関係経費についてお尋ねします。

貴社の昨年度（平成8年度＝平成8年4月～平成9年3月）1年間の通信ネットワーク関係経費はどのくらいですか。費用項目別の経費を、万円単位で数字で記入してください。（※ただし、この期間での記入が困難な場合は、最も近接した決算前1年間の経費を記入してください。）

なお、他の部門と共用で利用している等の理由により記入が困難な費目は記入しないで結構です。また、該当する経費がない場合には、ご面倒でも「0」と記入してください。

	(億円)		(百万円)		
① 減価償却費 (*1)					万円
② レンタル・リース料 (*2)					万円
③ 保守料					万円
④ 第一種電気通信事業者の回線利用料 (*3)					万円
⑤ 第二種電気通信事業者の情報通信サービス利用料 (*4)					万円
⑥ 人件費 (*5)					万円
⑦ 外部要員人件費 (*6)					万円
⑧ ソフトウェア委託開発費・購入費・使用料 (*7)					万円
⑨ その他の費用 (*8)					万円
※ 「合計」を記入してください。					万円

- 注 {
- (*1) 減価償却費とは、通信ネットワークを構成しているコンピュータや端末機等の装置、交換機(PBXを含む。)や多重化装置、LAN等の通信装置のうち買い取ったものの、昨年度末の減価償却費残高を指します。
 - (*2) レンタル・リース料とは、通信ネットワークを構成しているコンピュータや端末機等の装置、交換機(PBXを含む。)や多重化装置、LAN等の通信装置を、レンタル又はリースで使用している場合の年間費用を指します。
 - (*3) 第一種電気通信事業者とは、通信回線を自ら設置し、提供しているNTT、KDD、DDI、日本テレコム、日本高速通信等を指します。また、回線とは、専用線、DDX・DDX-TP・パケット交換等のデジタル・データ交換網、ISDN、VENUS等を指します。
 - (*4) 第二種電気通信事業者とは、第一種電気通信事業者の通信回線を利用して情報通信サービスを提供しているVAN業者等の事業者を指します。また、情報通信サービスとは、VANサービス、オンライン・リアルタイム処理サービス、オンライン・データベースサービス等のサービスを指します。
 - (*5) 人件費とは、貴社の情報通信関連部門(情報通信の企画、運用及び管理を担当している部門)の従業員に対して支払った現金給与(賞与、諸手当を含む。)で、税金、社会保険料等を差し引かない、いわゆる税込みの金額をいいます。ただし、外部要員のために要した費用は、外部要員人件費に含めてください。
 - (*6) 外部要員人件費とは、社外のシステム・エンジニア、プログラマ、キーパンチャ、オペレータ等を使用するために要した費用をいいます。
 - (*7) ソフトウェア委託開発費・購入費とは、システムの設計、プログラムの作成又は購入に要した費用を指し、ソフトウェア使用料とは、ソフトウェアのレンタルに要した費用を指します。
 - (*8) その他の費用とは、ネットワーク・システムに係る消耗品の購入費、補修費等の経常経費的な管理費用をいいます。

最後に、貴社の概要についてお尋ねします。

1 貴社の資本金額(出資金・基金の額)はどのくらいですか。該当する番号に○印を付けてください。

1.	5,000万円未満	3.	1億円～5億円未満	5.	10億円～50億円未満
2.	5,000万円～1億円未満	4.	5億円～10億円未満	6.	50億円以上

2 貴社の売上高(*2)はどのくらいですか。百万円単位で数字で記入してください。

(兆円)	(億円)									百万円
------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

注(*2)：売上高は、昨年度（平成8年度＝平成8年4月～平成9年3月）1年間の売上高（営業外収入は含めない。）を記入してください。（※ただし、この期間での記入が困難な場合は、最も近接した決算前1年間の金額を記入してください。）

3 貴社の国内事業所数(*3)はいくつですか。数字で記入してください。

なお、国内事業所には「本社」を含めますので、貴社が単独事業所の場合は「1」となります。

					か所
--	--	--	--	--	----

注(*3)：平成9年10月1日現在の事業所数を記入してください。

4 貴社の国外事業所数(*4)はいくつですか。数字で記入してください。

なお、国外事業所には「支社」、「支店」、「駐在所」等が該当しますが、ない場合は、ご面倒でも「0」と記入してください。

					か所
--	--	--	--	--	----

注(*4)：平成9年10月1日現在の事業所数を記入してください。

◎ 質問は以上です。お手数をお掛けいたしますが、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は貼らなくて結構です。ご協力有り難うございました。